［認知症対応型共同生活介護用］

# 1. 評価報告概要表

作成日　平成20年10月8日

## 【評価実施概要】

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | 1175100898 |
| 法人名 | 株式会社メデカジャパン |
| 事業所名 | 新座グループホームそよ風 |
| 所在地 | 〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内1-3-32<br>（電　話）048-489-5121 |

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | 社会福祉法人　埼玉県社会福祉協議会　福祉サービス評価センター |
| 所在地 | 〒330-8529　埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65　彩の国すこやかプラザ |
| 訪問調査日 | 平成20年10月6日 |

## 【情報提供票より】（平成20年9月20日事業所記入）

### （1）組織概要

| | | |
|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成17年7月1日 | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計　27 人 |
| 職員数 | 22　人 | 常勤　18人，非常勤　4人，常勤換算　21.4人 |

### （2）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 鉄骨造り |
| | 3階建ての1階～3階部分 |

### （3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 65,000 円 | | その他の経費（月額） | 23,000円+実費 |
| 敷　　金 | 無 | | | |
| 保証金の有無<br>（入居一時金含む） | 有（　300,000円　） | | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 200 円 |
| | または1日あたり　　円 | | | |

### （4）利用者の概要（9月20日現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | | 26 名 | 男性 | 7 名 | 女性　19 名 |
| 要介護1 | | 2 名 | 要介護2 | 7 名 | |
| 要介護3 | | 14 名 | 要介護4 | 3 名 | |
| 要介護5 | | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | |
| 年齢 | 平均 | 79 歳 | 最低 | 59 歳 | 最高　95 歳 |

### （5）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 医療法人東皓会　静風荘病院 |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、介護事業を全国展開している法人のグループホームで市内にも同一法人の在宅サービス事業所があり、事業所間での協力体制が取れている。ホームは風光明媚な環境にあり、利用者は自然を感じながらゆったりと生活できている。日常の外出やレクリエーションでは、一人ひとりの意向に沿えるように個別対応している。庭には家庭菜園があり、季節ごとの野菜作りも楽しんでいる。ターミナルケアについても積極的で、利用者や家族の望む最期を過ごせるように取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

### 重点項目①

**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）**

地域との付き合いについては、交流を深めるために自治会に加入した。また、年間3回の運営推進会議を開催しているが実質的な内容が検討されるように更なる取り組みが期待される。市との関わりでは、支援課が生活保護の利用者の誕生日に来訪する他、入居状況を連絡している。職員を育てる取り組みにおいては、研修への参加機会がまだ少ない状況にある。災害対策においてもさらなる取り組みが期待されるが、前回の評価で挙げられた改善課題に対して取り組めるところから対応している。

**今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）**

自己評価については、評価項目を職員全員で確認することにより日々の業務の振り返りとなっている。また、利用者へのケアの改善への意識付けにつながり、評価を活かした取り組みに努めている。

### 重点項目②

**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）**

運営推進会議は年3回開催されたが、家族の都合に考慮した開催日の調整もあり、地域包括支援センターや市の職員の参加には至っていない。まだ参加者が少ない状況であるが、家族を中心とした意見をもとに、サービスの向上を目指して改善に取り組んでいる。

### 重点項目③

**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）**

毎月、手紙を家族に送付して利用者の日々の暮らしぶりなどを報告している。また、面会時にも利用者の様子や受診結果を伝え、必要に応じて電話連絡もするとともに、家族から何かあれば管理者へ連絡ができる体制をとっている。

### 重点項目④

**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）**

ホームのオーナーが自治会長ということもあり、自治会の行事の情報を把握しやすい。実際、自治会の行事に参加したり児童福祉会館で行われる展示会に利用者の作品を出品することもある。また、地域の掃除活動や近くの保育所の栗拾い、芋ほり等の行事にも参加しながら、地域との連携を図っている。

# 2. 評 価 報 告 書

（ ▒ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営** | | | | | |
| **1．理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | **○地域密着型サービスとしての理念**<br><br>**地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている** | 法人の理念はあるが、地域密着型サービスとしての当該ホームの理念はまだ作り上げるに至っていない。 | ○ | 地域密着型グループホームとしての職員の思いを言葉としてまとめ、職員全体が心の拠り所とできるように事業所独自の理念を作り上げることが期待される。 |
| 2 | 2 | **○理念の共有と日々の取り組み**<br><br>**管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる** | 理念が記載された法人の介護知識基本手帳を各職員に配り、職員は手帳を携帯するようにして共有している。日々、理念が浸透していくように努め、実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| **2．地域との支えあい** | | | | | |
| 3 | 5 | **○地域とのつきあい**<br><br>**事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている** | ホームのオーナーが自治会長ということが活かされており自治会での行事の情報なども把握しやすい。児童福祉会館の展示会に利用者の作品を出品したり、行事や地域の掃除活動にも参加している。また、近くの保育所の栗拾いや芋ほりなどの行事にも参加して地域との交流に努めている。 | | |
| **3．理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 4 | 7 | **○評価の意義の理解と活用**<br><br>**運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる** | 前回の評価実施後、会議を開き、今後の取り組みの方針について職員全員で話し合い共有している。また、職員全体で評価項目を確認することにより、利用者へのケアの改善に対する意識付けとなっている。評価を日々の実践につなげることを心がけ、評価を活かした取り組みに努めている。 | | |
| 5 | 8 | **○運営推進会議を活かした取り組み**<br><br>**運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている** | 運営推進会議は、年間3回開催したが、土日にしか都合がつかない家族が多く、地域包括支援センターや介護保険課の参加は叶っていない。 | ○ | 定期的な開催により、ホームの理念や家族の要望についてなど、実質的で、より充実した内容になっていくことが期待される。なお、今後は市との連携を図っていくためにも自主的に話し合いの機会を設け、地域包括支援センターや介護保険課に働きかけることも期待される。 |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市へ入居状況を報告したり、解らないことを介護保険課に相談したりしながら連携を図ろうと努めている。ホームとしては、さらに行き来のある関係を目指し、より連携を密にしていきたい意向である。 | | |
| 4．理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月、そよ風新聞、請求明細書、内服薬の内容、日々の様子などが綴られた手紙を郵送して家族に報告している。また、家族の面会時にも利用者の暮らしぶりや受診結果を伝え、必要に応じて電話連絡もしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族から何かあれば管理者の携帯電話に連絡がつながるようになっている。家族からの苦情の申し出はほとんど無い。 | ○ | 苦情の申し出や相談がしやすいように家族会を立ち上げたり、意見箱を設置するなど、意見を引き出すような工夫に期待したい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動や離職を最小限に抑えられるような努力をしているが、異動や退職者が出た場合には、担当していた利用者にできる限り影響与えないように配慮している。 | | |
| 5．人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 会社主催の新人研修やケアマネージャー向けの研修がある。最近では職員全員が救急救命の研修を受けることを目標にしている。 | ○ | 外部で研修を受けて来た際に、他の職員に対しての研修報告が習慣化されていないので、是非、習慣的に研修報告（伝達研修）がなされていくことを期待したい。現在のホームでの課題であるターミナルケアの取り組みなど必要な研修に参加することで、研修と通し実際のケアに活かせる情報の共有化に結びつけることが期待される。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 3か月に1度実施される新座市のグループホーム協議会の会合に参加して交流に努めている。また、毎月行われるそよ風グループの管理者の会合にも参加している。近隣のショートステイやデイサービスセンターとお互いに見学をすることにより、取り入れたい部分や改善したい点などを把握している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に家族と一緒に見学していただいたり、3日間ほどの宿泊体験も可能である。入居当初はなるべく職員が個別で対応し、帰宅願望があれば家まで付き添って行くこともある。 | | |
| **2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援** | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者は人生の先輩であるという考えのもと、職員は子育ての相談をしたり、家庭内のことを打ち明けたりし、頼ることもある。調理などでは教わることも多く、お互いの信頼関係の中で学び支えあっている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| **1．一人ひとりの把握** | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人および家族の意向については、口頭では確認しているがアセスメントへの記載がされていない。また、初回アセスメントはされているが、日付の記載漏れがあるなど記録の不備がみられる。 | ○ | アセスメントやその他の記録の日付の記載漏れに気をつけ、介護計画の見直しの際には再アセスメントを取り、利用者や家族の意向を十分に把握し記録しておくことで、職員間で情報を共有することが期待される。 |
| **2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し** | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 主に居室担当者が中心となり利用者の状況を把握するとともに、家族からも意向を聞きとり、フロア会議で報告して介護計画の作成に反映させている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な見直しの他、介護認定更新時や状態に変化があった際に適宜見直しを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **3．多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | | |
| 17 | 39 | **○事業所の多機能性を活かした支援**<br>**本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている** | 車で5分くらいのところに同一法人のデイサービスセンターと短期入所施設があるため、デイサービスセンターのレクリエーションに参加したり機械浴を借りたりして、状況に応じて多機能性を活かした取り組みを行っている。 | | |
| **4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | | |
| 18 | 43 | **○かかりつけ医の受診支援**<br>**本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している** | 家族と相談して利用者それぞれのかかりつけ医を決め、職員が付き添うなどの受診支援している。24時間電話で相談できる協力医があり、家族や職員も安心している。また、月に2回の往診を受けている。 | | |
| 19 | 47 | **○重度化や終末期に向けた方針の共有**<br>**重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している** | 終末期の対応としては、家族、主治医、ホーム側との三者面談により意向や方針について話し合い、相互理解した上で可能な限り希望に応じた対応をしたいと考えている。ショートステイの看護師の協力もあり過去に2名の看取りがされており、家族や利用者の意思を尊重した良い取り組みが行われている。 | ○ | 過去に協力してくれたショートステイの看護師が退職予定ということもあり、今後は職員間で方針を再確認し共通認識を深め、さらに終末期に向けて、その人の意向に沿った対応ができるように、職員全体の知識を深めていくことが期待される。 |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>**1．その人らしい暮らしの支援**<br>**(1) 一人ひとりの尊重** | | | | | |
| 20 | 50 | **○プライバシーの確保の徹底**<br>**一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない** | プライバシーを尊重した対応の仕方について職員が認識できている。声をかけてからドアを開けるなど、常に本人の意思を尊重した対応に努め、記録物の取り扱いにも注意を払っている。 | | |
| 21 | 52 | **○日々のその人らしい暮らし**<br>**職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している** | 職員の都合ではなく、利用者一人ひとりのペースに合わせて共にゆったりと生活できるように心がけ、利用者が主体となる支援に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居前には調理をしたことも無かった利用者が入居してから職員と一緒に調理するようになり、今ではその時間がとても楽しみになっている。利用者には可能な範囲で行う役割があり、調理や片付けに自主的に加わってもらい、力を活かせるよう支援に努めている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的に24時間いつでも希望に応じて入浴できるようにしている。時には夕食後に入浴することもあるが、必ず職員が付き添うようにしている。入浴を拒む場合は3日以上は空けないように働きかけるほか、銭湯を利用するなど工夫しながら支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 調理や食器の準備などの役割を利用者が自主的に楽しみながら行えている。職員は利用者の要望に耳を傾け、個別対応で映画やボーリングに付き合うなど、気晴らしや楽しみごとに柔軟に対応している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 1週間に1回はワゴン車で外食等に出かけている。個別の行事計画もあり、ボーリングや個別レクリエーションとしての外出もある。また、3日に1回くらいは公園を散歩しており、希望に応じてコンビニエンスストアへ買い物にも出かけている。なお、中庭には日常的に出て外気浴をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | オープン時に話し合いがあり、ホーム前の通りの交通は激しく大型車も多く危険性が高いため、安全を第一に考え玄関には施錠している。しかし、広くとられた中庭には自由に出て外気浴をすることが可能である。また、利用者には外出したい意向を察して付き添うなど個別の対応をしている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害時緊急連絡網があり、備蓄は1週間分ほどの備えがある。消火訓練、避難訓練は行っているが3ユニットということもあり、夜間の対応には職員の不安がある。 | ○ | 夜間を想定した訓練や通報･防火訓練など、さらなる充実を目指し、いつどの時間帯に災害が起きても確実に対応できるように取り組んでいくことが期待される。 |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 本人の状況に合わせた食事提供がなされており、食事や水分の摂取については個別にチェックして管理している。 | | |
| 2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 廊下には利用者が製作した切り絵や貼り絵の大作が飾られており、食堂は広くて明るく、工作が展示されていて居心地の良い空間である。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には好きなものを自由に持ち込むことが可能で、工作したものや写真なども飾られてあり、本人が安心して過ごせるように配慮している。 | | |